

# 医療福祉連携室たより

No.39

発行日

2021年1月25日

医療法人社団松柏会  
至誠堂総合病院



医療福祉連携室たより  
第39号



## 新年の御挨拶

至誠堂総合病院 病院長 小林 真司

明けましておめでとうございます。

日頃より当院の診療活動に対しまして御理解・御協力を賜り、ありがとうございます。昨年は新型コロナウイルスの報道で始まり、コロナ禍での生活という制約を強いられた異例の一年でした。そのような折、5月に不肖私が高橋敬治先生から院長職を引き継ぐことになりました。

当院における医療活動の基本は『安全・安心・信頼される公正な医療の実践』を病院の理念として「いつでも、誰でも、安全で安心してかかれる、信頼される病院」を目指して活動・運営してきています。当然ながら病院長が変わってもこの基本方針は変わることはありません。特に高齢者医療を中心とした地域の健康を守るため法人としても訪問看護・介護、訪問リハビリ・通所リハビリをはじめとした幅広い活動を行なっています。

また、2010年3月に開設した回復期リハビリテーション病棟は今年3月には12年目となります。6つに区分されるリハ病棟入院料はその人員配置、実績から当院は「1」を取得し、村山医療圏における大腿骨頸部骨折、脳卒中の連携パスシステムにおける連携病院として機能しています。当初、17名だった療法士は今では歯科衛生士を含めて約70名の大所帯となり、3名の専門医を配置しています。山形大学医学部附属病院、県立中央病院、市立病院済生館、山形済生病院など市内を中心とした急性期病院からリハビリを必要とする方々の転院を受け入れる連携病院としても機能し、年間350~400例の症例を受けています。今年もその機能を活かし、開業医さんからの紹介の受け入れを含め、地域に根ざした医療機関として務めていきたいと考えております。さらに放射線学会専門医も常勤しており、読影判定を含めたMRI・CT画像検査依頼も受け付けておりますので是非ご活用ください。

新型コロナウイルスに関しましては昨年11月<sup>ひっばく</sup>から12月にかけての第3波の到来、医療逼迫の報道がなされ、いまだ予断を許さない状況下ではあります。しかし、昨年と違い、世界各国でワクチンの開発・治験がすすみ、国によっては既に接種が始まり、日本国内でも春から接種開始予定となっています。今年ウィズ・コロナ、ポスト・コロナを見据えた第一歩が踏み出せる年になるかと思えます。一年延期とはなりましたが、東京五輪も開催される予定です。健康管理にはこれまで以上にご留意なされ、本年も皆様にとって幸多き年でありますように祈念申し上げます。

ご来院の皆さまへ

日頃より、至誠堂総合病院の医療活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。  
5月1日より病院長となりました小林真司です。この度の新型コロナウイルス感染症の流行に対して、当院においてもマスクの着用や手指消毒の徹底、集会の制限など、みなさまに多大なるご協力を賜り、ありがとうございます。  
当院では、幸いに、これまでのところ院内感染を発生することなく、山形県においても1か月以上院内での新たな感染は発生していません。  
当院としましては、引き続き感染防止対策を確実に実施しながら、現在は通常診療を行っております。安心して受診していただけるよう努力してまいります。  
地域のみなさまの健康と、安全・安心の医療の態として至誠堂総合病院の発展に尽くしてまいりますので、よろしくお願いたします。

院長 小林真司

しっかり予防し、感染をふせぎましょう！  
いまこそ、みんなでどんな困難も乗り切ろう！

検温が大切 「検温」を忘れず	検温が正しい日は 検温せずとも	検温が正常な日は 検温を省略	検温が異常 の場合は すぐ知らせ
ご自身の体調で お休みください	検温していただき マスク着用	うがいや手洗い をこまめに	検温のやり方 ご参考に

## 10月より至誠堂総合病院 整形外科に新任医師が着任されました



### 整形外科 <sup>かとう よしひろ</sup> 加藤 義洋 先生

この度、至誠堂総合病院整形外科に赴任しました、加藤義洋と申します。山形大学医学部医学科を卒業し山形大学医学部整形外科学教室に在籍し、県内の病院を中心に福島県や宮城県の病院で働いてきました。専門は整形外科の中でも手外科領域ですが、整形外科一般の外傷や近年の高齢化社会における高齢者に多い怪我についても治療を行っていきたいと思います。これからの時期、滑って転倒という危険性も増えてきます。その際、手首が腫れているといったことがあれば、治療可能ですので、気軽に受診いただくと幸いです。

当院で手に関する治療を増やしていきたいと思っております。精一杯頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。  
※火曜日と木曜日の午前に外来診察を行っております。

## 認知症サポートケアの取り組み



認知症看護認定看護師  
深瀬真理子

2025年には認知症患者が約700万人に達すると言われており、当院でも認知症と診断された方や認知機能の低下により日常生活において支障が出てきている方が多く入院されています。その状況の中で院内において認知症の患者や家族の方を支援していくため、認知症ケアサポートチームを立ち上げて活動しています。

認知症の方は入院による環境の変化が要因となり、せん妄や認知症の行動・心理症状を発症しやすく、精神的に不安定となる場合が見られます。認知症看護認定看護師の資格取得に伴い、今年度より入院生活に不安を来している患者さんを中心に認知症ケアチームによりラウンドを開始しました。メンバーは医師・看護師・薬剤師・療法士・社会福祉士と院内の多職種で構成されており、実際に患者さんの下に伺い、困っている事や不安な事をお聞きした上で状況を確認させていただいております。その中で症状や薬、環境の調整をはじめ、認知機能の評価など各専門分野からの意見を基に患者さんの個別性に合わせたケアのアドバイスをすることで、認知症ケアのサポートをしています。その他にも今までのケアの振り返りや今後に向けたケアのあり方、退院後を見据えた支援をしていくために定期的に事例検討会を行っております。また、今年度は認定看護師の専門的知識を活かし、認知症ケアの対応力向上に向けての学習会を全職員に開催しました。

認知症ケアはその方の視点に立つこと、生活背景を知り、個別性に合った状況や環境に対応していくことが必要だと考えます。今後も活動を通して認知症や家族の方が安心した入院生活を過ごせるように、また住み慣れた場所に落ち着いた状態で退院できるように、質の高い認知症ケアが提供できるように、病院全体で取り組んでいきます。



コロナ禍の下で  
地域住民を支える

## やまがた健康友の会活動

やまがた健康友の会は至誠堂総合病院や関連施設協力の下、地域の方々と健康づくりをはじめ、安心して住み続けられるまちづくり運動を展開し、来年で創立40周年を迎えます。

昨年来の世界的な新型コロナウイルス感染拡大で、さまざまな活動やイベントが中止となり、楽しみや喜びを共有する時間がもてない時間に失望感と悔しさばかり……。急激な状況変化で一番困惑している地域の方々と友の会会員さんのために、“withコロナ”でどのような活動ができるかをみんなで考える日々でした。

まずは健康状態の聞き取り、孤独・孤立を生まないように定期的に電話かけ作戦を実行し、“支える”“見守る”行動を重要視してきました。また、自然の力で楽しく参加できる企画を多くとり入れ、新企画なども考案し、制限下での活動に工夫を凝らしながら、健康づくりや生きがいづくりの輪を広めてきました。これらの活動をとおり、コロナ禍でも多くの方々からたくさんの笑顔や喜ばれる声をいただき、私どもの活力源となっています。

昨年以至誠堂総合病院は、これまでの友の会と地域住民に対する健康支援活動が評価され、国際病院組織であるH P H（Health Promoting Hospital 健康増進病院）に認定されました。地域住民の健康な暮らしの支援活動は病院の目標の柱の一つです。昨年秋、



ひとり暮らしサポート企画（葡萄狩り：天童市）



桜の実ウォーキング（霞城公園）



GoToハイキング（三吉山：上山市）

友の会の役員さんと職員と一緒に病院周辺地域へ訪問した活動は、地域の方々や会員さんの生の声を聴く大変貴重な活動となり、あらためて地域での期待や役割、責任を自覚する機会ともなりました。

地域で医療や介護、福祉と暮らしを守る住民組織として、あらゆる活動を至誠堂総合病院と共にすすめて、この地域で豊かに安心して住み続けられるまちづくり運動を今後も広げていきます。



秋のミニレクリエーション（上杉神社：米沢市）



地域訪問行動

## 至誠堂総合病院 外来医師体制表

診療科		月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:30)	一般内科 ・新患	荒生	中島	瀬角	佐藤(明) 川瀬	川瀬	各医師交代
	呼吸器内科	高橋	荒生	高橋	荒生	高橋 山内 (山形大学)	
	循環器内科			渡邊(哲) (山形大学)		加藤 (山形大学)	
	消化器内科	中島	中島 佐藤(明)	中島 瀬角	佐藤(明)		
	糖尿病内科	富樫(厚)	小山	小山	富樫(厚)		
	脳神経内科	谷口(央)	谷口(央)	谷口(央)	谷口(昌)	谷口(昌)	糖尿病外来 (山形大学) 亀田 (第2・4週)
	外科	内田 (山形大学)				中村 (山形大学)	
	整形外科	鈴木	小林 加藤	寒河江 (第1・3・5週) 濱崎(第2・4週) (山形大学)	小林 (リウマチ外来含む) 加藤	鈴木	
	耳鼻科	山形大学 (9:45~12:00)		伊藤(吏) (9:45~12:00) (山形大学)		山形大学 (9:00~11:30)	
	婦人科		渡部 (東北医科薬科大)		須藤 (山形大学)		
午後 (2:00~4:00)	内科	富樫(整) 佐藤(明) (5:00まで)	瀬角 (5:00まで) 伊藤 (5:00まで) (第2、第4)	瀬角 (5:00まで)	各医師交代	各医師交代	各医師交代
	眼科		山形大学 (2:00~5:00)		山形大学 (2:00~5:00)		
	皮膚科				東北大学		
午後 (4:00~5:00)	内科		中島		中島		各医師交代

### ◎HPH (Health Promoting Hospitals&Health Services) 施設に認定されております

至誠堂総合病院は、2019年6月7日付でHPH加盟病院となり、世界基準であるヘルスプロモーション活動を行う病院として登録されました。病院と医療サービスの現場で患者さんと病院スタッフと地域と環境を考えるヘルスプロモーションを実践していきます。

### 医療法人社団松柏会の各施設のご紹介

#### 至誠堂総合病院

〒990-0045 山形市桜町7-44 Tel 023-622-7181 Fax 023-642-8101

#### 至誠堂総合病院附属中山診療所

〒990-0401 東村山郡中山町長崎3030-1 Tel 023-662-5011 Fax 023-662-5049

#### 至誠堂とかみクリニック

〒990-2342 山形市富神前48-5 Tel 023-646-5588 Fax 023-646-5577

#### 至誠堂総合ケアセンター

〒990-0047 山形市旅籠町1-7-23 Tel 023-679-5172 Fax 023-642-8103

#### ○わかばクリニック (在宅療養支援診療所)

Tel 023-634-3460 Fax 023-642-8103

#### ○介護療養型老人保健施設 木の実 (入所・通所)

Tel 023-679-5172 Fax 023-642-8103

#### ○至誠堂訪問サービスセンター コスモス (訪問看護、訪問リハビリ)

Tel 023-631-1674 Fax 023-631-1501

#### ○定期巡回・随時対応型訪問介護看護 至誠堂ホームケア24

Tel 023-687-0733 Fax 023-687-0731

#### ○至誠堂ケアプランセンター みらい

Tel 023-615-7216 Fax 023-634-3466

#### ○地域包括支援センター かがやき (山形市より委託)

Tel 023-631-8020 Fax 023-631-8063

#### ○サービス付き高齢者向け住宅ブランドホームはたごまち

Tel 023-679-5172 Fax 023-642-8103



日本医療機能評価機構認定施設  
病院機能評価

**至誠堂総合病院**  
医療福祉連携室  
山形市桜町7-44  
023-622-7551 (直通)  
http://www.shiseido-hp.jp  
E-mail mail@shiseido-hp.jp  
発行責任者 至誠堂総合病院  
小林 真司  
編集 医療福祉連携室